

二〇一六年 十月

「今月の言葉」と「今月の聖語」についての紹介

今月の言葉

青色 青光 黄色 黄光 赤色 赤光 白色 白光

『仏説阿弥陀経』

「この言葉は、『仏説阿弥陀経』という經典に出てくるものです。お浄土の池には大きな蓮の花が咲き、「青い花は青い光を、黄色い花は黄色い光を、赤い花は赤い光を、白い花は白い光を放ち、いずれも気高く清らかである」と述べられています。

「『仏説阿弥陀経』の内容は私たちに大切なことを教えてくれます。それは、この蓮の花がそれぞれの色に光っているように、私たちもそれぞれの色をもつかげがえのない尊い存在だということです。みなさんもお浄土の蓮の花のように学校生活の中で、自分という花を自分の色に精一杯輝かせてほしいと思います。一方、周りの人にもそれぞれ自分の色があります。童謡詩人の金子みすずさんが「わたしと小鳥とすず」という詩で述べられているように「みんな違ってみんないい」という見方も忘れないでください。お互いを理解し合い、認め合っていく関係を築いていくことこそ本当に大切なことだと思います。

今月の聖語

まず自分を正しくとのえ、次いで他人を教えよ。

『ダンマパダ』

ストレートに心に響く言葉だと思えます。まさに自分自身のことを言われているような気になりますか。みなさんは、この言葉を読んで、どのように感じたでしょうか。

不思議なもので、人の欠点はよく見えてしまいます。私たちは、つい人の欠点や至らないところを指摘しがちですが、自分自身のことは案外見えていないことが多いかも知れません。人の言動ばかりに気を取られて、肝心の自分自身を見失ってしまっただけじゃありません。人に何か言う前には、必ず一度立ち止まり、自分自身の言動を振り返ってみることが大切です。

仏陀が述べるように、日々の言動をこの機会にしっかりと見つめ直して、まずは自分自身を正しく整えることに努めましょう。

合掌

宗教教育係